

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行所
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第493号

12月号 TOPICS

- 2面…県知事選立候補予定者へ要望書
- 3面…オンライン診療に関する研修
- 4面・5面…定期総会協賛広告
- 6面…新型コロナ補助金申請の注意点
- 7面…日本の城郭
- 8面…気になるワインの話

協会 第45回定期総会開催 活動方針を協議 新役員選出

11月14日、山形市大手門パルズで協会の第45回定期総会が行われた。開会にあたり國井兵太郎理事長は、「協会は創立から数え45年目となる。新型コロナウイルスにより大変な時だが、県民の健康を守るため、そして医師・歯科医師の助けとなる活動方針となるよう活発に討議していただきたい」とあいさつを述べた。

総会では鈴木康洋副理事長がこの一年の活動の特徴として、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みを報告。会員アンケートを2回実施し、患者の受診控えと医療機関減収の実態が明らかとなり、県への要請の結果、県内医療機関への支援金給付が実現した。

第45期活動の重点課題は、患者負担増中止、診療報酬引き上げ、不合理点数は正、保険でより良い歯科医療を求める活動、消費税の増税問題、審査・指導、立ち入り検査対策、共済制度の普及、入会の促進を提案。時局対策として、新型コロナウイルス感染症対策やマイナンバーカード、オンライン診療問題などに引き続き対応する。活動総括と方針は全会一致で可決された。

最後に「いのちと健康を守るため社会保障制度の充実を求める」決議が提案され、拍手で採択された。

次に今年度決算と監査報告、来年度予算の提案が行われ、決算、予算ともに了承された。



新型コロナ対策を考慮して議事は進められた



勇退の挨拶に立ち花束を受け取る國井前理事長

第45回定期総会で選出された新役員

■ 顧問	井出 醇 (眼科)	勝島 一郎 (内科)	日下部 功夫 (小児科)	松本 道夫 (整形外科)	山形市 継																				
■ 地区担当理事	姉崎 功 (外科)	(以上 任期2年)				真室川町 再																			
■ 監事	小川 裕 (内科)	吉村 信幸 (肛門外科)	山田 修久 (外・内・脳外科)	本間 修 (外科)	堀米 亨 (泌尿器科)	古沢 信之 (精神科)	長谷川 和康 (内科)	橋本 雅仁 (歯科)	二瓶 邦信 (内科)	鈴木 光典 (整形外科)	田中 雄二 (内科・外科)	庄司 裕克 (歯科)	三條 敏邦 (胃腸科)	佐藤 誠 (歯科)	齋藤 克之 (泌尿器科)	國井兵太郎 (産婦人科)	加藤 克彦 (歯科)	理事	豊田 博巳 (歯科)	鈴木 康洋 (内科)	副理事長	中島 幸裕 (内科)	理事長		
山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市	山形市
再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再	再



「つばさ」12月号分の当番に当たっている。今回の題材は何しよるか？世の中色々な事がありすぎて迷っていた。米国大統領選の結果が出てから考えようかと思つたが、「つばさ」の締め切りまでに結果は出ないとも言われていた。報道では民主党バイデンが当確と言っている。トランプの支持層は「隠れ」も含め、その熱気と憎悪は普通でないと言う。スリピー・ジョーと、バイデン本人の目の前で罵り、メディアから、いくら下品だ、非常識だと非難されようとお構いなしにSNSで吠え続けた。新型コロナウイルスに罹患しても、不死身ぶりを強調して、コロナを侮る。郵便投票での不正を強調して、法廷闘争に持ち込む構えだ。ブラック・ライブズ・マターも、過酷な不法難民への弾圧もやりたい放題だったトランプを、表では支持していないふりをしている「隠れ」が多いのだと言うのにもあきれる。実際、彼が多くの票を得たのも事実だ。田舎で愛されているらしい。バイデンは大都市近郊で票を得たのが勝因と言われる。日本でも大阪で市民が二分されてしまったが、バイデンが大統領になると日本も分断が止まる方向になるのか？世界の分断化の傾向が逆の方向に動き出すのか？裁判という事になると正月になっても結果が出ないのでないかと言うが、訴えは棄却されて来ている。バイデンに決まったようだが。(Y)